ロケ撮影における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト

［FC 名：ながのフィルムコミッション］

作　品　名：
所属会社名および所属先住所：
撮影現場責任者および連絡先：

作品名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のロケ撮影に際し、以下の新型コロナウイルス感染予防対策を、責任をもって行うことを報告する。また、以下のすべての内容に付き確認が取れなければ、撮影支援が受けらない場合があることを承諾する。

1. 事前対策

- □ 「ロケ撮影支援における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の内容を確認した。
- □ 感染対策のための消毒などを行う専属の衛生管理者（係）を撮影現場に設置する。
- □ 撮影関係者および出演者に、発熱・咳・下痢等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者はいない。
- □ ロケ撮影にかかわる全撮影関係者の撮影 2 週間前までの行動記録を確認・管理している。
- □ 撮影関係者および出演者やエキストラ等が撮影期間に必要なマスク、手袋、消毒液等の用意ができている。
- □ 撮影現場では毎日、検温ができる体制になっている。
- □ 撮影現場責任者を明確にし、地域のフィルム・コミッションや自治体、ロケ地管理者への連絡を済ませている。
- □ 撮影地において、撮影関係者に感染が疑われる場合の対処法や連絡先などの確認を済ませている。
- □ 厚生労働省および保健所が定める予防対策の確認を済ませている。

2. 撮影現場において

- □ 撮影現場では社会的距離の確保を徹底する。
- □ 撮影現場責任者はフィルム・コミッションや自治体、ロケ地管理者と連絡を取りあう。
- □ マスク・手袋着用や手指消毒を徹底する。
- □ 撮影関係者の体温チェックを徹底する。
- □ 撮影関係者の撮影中の行動確認を確認・管理する。
- □ ロケ地管理者が設定しているロケ現場の消毒が徹底されている。
- □ ロケセットや施設内など屋内においては、原則、自治体が定めるイベント開催の人数制限を守る。
- □ ロケ撮影への車両での移動は、1 台における乗車人数を最小限（社会的距離を取るなど感染防止策を取った対応）に抑え、必ず換気をしながら移動する。
- □ 宿泊を伴う場合は、一人一部屋(シングルの部屋)を確保している。
- □ 全ての食事はケータリング形式ではなく表面の汚染を防ぐ方法を用い、一個ずつパッキングされたものを提供する。
- □ 食事を扱う従事者は、食事の都度、事前に手指消毒や手洗いを済ませ、マスクと手袋を着用する。
- □ 清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋を着用し、終了後は手洗い、消毒を徹底する。
- □ ゴミは、衛生管理者（係）の下、撮影関係者が撮影地のルールに従い処分する
- □ 撮影地でゴミを処理する際は、ごみ処理のガイドラインに沿って感染予防を行って処理する。
- □ ロケ撮影の際、通行人、見学者が密にならないよう配慮を徹底する。
- □ 撮影終了後は、事前にロケ地管理者と協議した上で、映像製作者の責任において、撮影現場の消毒、清掃を行う。

3. エキストラについて

- □ エキストラの募集は最小限に留め、エキストラの連絡先や身元の管理は行う。
- □ エキストラの健康状態および行動履歴の確認は取れている。

4. 感染が疑われた場合の対処

- □ 感染が疑われる者が出た場合、直ちに隔離して共有した物などを消毒するとともに、必ず FC と保健所へ連絡しすること。
- □ 感染が確認された場合、直ちに撮影を中断し、保健所等の指導に従う。

©2020 Japan Film Commission All Rights Reserved.